



平成28年4月8日

各 位

会 社 名 株式会社アークス
代表者名 代表取締役社長 横山 清
(コード：9948 東証第一部、札幌)
問合せ先 取締役常務執行役員
管理部門・コーポレート部門管掌
古川 公一
(TEL. 011-530-1000)

「内部統制報告書の訂正報告書」の提出に関するお知らせ

当社は、本日公表いたしました「過年度に係る有価証券報告書等の訂正報告書の提出、及び過年度に係る決算短信等（訂正版）の公表について」にてお知らせいたしましたとおり、本日、過年度の有価証券報告書等の訂正報告書を関東財務局へ提出し、過年度決算短信（訂正版）等についても公表いたしました。また、これと併せ、金融商品取引法第24条の4の5第1項に基づき、「内部統制報告書の訂正報告書」を提出しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の対象となる内部統制報告書

第54期 内部統制報告書（自 平成26年3月1日 至 平成27年2月28日）

2. 訂正の内容

上記の内部統制報告書の記載事項のうち、3【評価結果に関する事項】を以下のとおり訂正いたします。なお、訂正箇所には下線~~を~~を付して表示しております。

3【評価結果に関する事項】

(訂正前)

上記の評価の結果、当事業年度末日時点において、当社の財務報告に係る内部統制は有効であると判断いたしました。

(訂正後)

下記に記載した財務報告に係る内部統制に関する事項は、財務報告に重要な影響を及ぼすこととなり、開示すべき重要な不備に該当すると判断いたしました。したがって、当連結会計年度末日時点において、当社グループの財務報告に係る内部統制は有効でない判断いたしました。

記

当社は、平成26年9月1日付で株式会社ベルプラス（現株式会社ベルジョイス）との間で株式交換による経営統合を行いました。その企業結合に伴う資本連結手続きにおいて少数株主持分の計算に誤謬があることが判明したため、平成27年2月期第3四半期の四半期報告書及び

平成27年2月期の有価証券報告書並びに平成28年2月期第1四半期から第3四半期における四半期報告書について訂正報告書を提出いたしました。

上記の誤謬については、当社において該当する複雑な企業結合会計及び連結会計に関する認識の誤りにより、少数株主持分の残高検証手続が不足していたことが原因であり、当社の経理体制が正確な財務諸表を作成することに必ずしも十分とは言えないことから、全社的な内部統制及び決算・財務報告プロセスに関連する内部統制上、開示すべき重要な不備があると判断いたしました。

なお、上記の財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備が、連結会計年度末までには是正されなかった理由は、当該誤謬が翌連結会計年度の第4四半期において判明したためであります。

当社は、財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を強く認識しており、複雑な企業結合会計及び連結会計に対応するための専門知識の強化および人員体制の確立を急ぐとともに、連結決算に関するチェックリストを再度整備し、また、重要な非経常取引の検討過程においては社外専門家の複数に見解を求める等、全社的な内部統制及び決算・財務報告プロセスの整備・運用の更なる強化を図り、財務報告の信頼性を確保してまいります。

以上